

塩原のかたりべ

9月26日(月)いきいきふれあいセンターにて、「塩原のかたりべ」が「シルバー大学校黒磯同窓会」の客演者として黒磯や塩原の民話を披露しました。

この日は9人のメンバーで切ない話や思わずクスッと笑ってしまう話など様々な民話を味わいました。声色や口調が違うので全てが新鮮で身を乗り出して聴き入りました。更には馴染み深い「栃木弁」が舞台を温かくし観客を魅了していました。

お話は塩原出身の若くして命を落とした美しい花魁^{おいらん}の話「塩原高尾太夫^{しおほらたかおだゆう}」に始まり、キツネと人間の化かし合いを描いた「富士山のこん太キツネ」の全部で9話でした。

民話の途中には代表の佐藤氏が得意とする性格診断をしました。観客は診断結果に大笑いし和やかな時間はあっという間に過ぎました。

地元塩原温泉郷を訪れたくなるようなお話がぎゅっと詰まっていました。



▲「塩原のかたりべ」のみなさん。今年で18周年だそうです！
毎週月曜日午前11時から「関谷もみじの郷^{きと}」で「民話語り」
を聴けるそうです！是非、足を運んでみてはいかがでしょうか♪

▲本も出版されています！
本日のお話の他、民話が盛りだくさんです！

